

「学校統廃合」に関する意見募集（パブリック・コメント）結果の公表

平成19年7月1日（日）から7月31日（火）まで「大東市学校統廃合検討委員会 中間答申」を公表し、市民の皆さんからご意見を求めましたところ、多くのご意見をお寄せいただき、大変ありがとうございました。

とりまとめの都合上、ご意見等を適宜集約し、次のとおり学校統廃合検討委員会としての考え方を付して公表します。

なお、この「学校統廃合に係るパブリック・コメントの集約とそれに対する検討委員会の考え方」は、市民情報コーナー（市役所1階）、教育政策・人権室（市民会館5階）、生涯学習センター「アクロス」、市立各小中学校でも閲覧することができます。

学校統廃合に関するパブリック・コメント(2007/7/1～7/31)の集約とそれに対する検討委員会の考え方(意見提出者数:125名)

【はじめに】

学校統廃合についてのパブリック・コメントを求めましたところ、多くのご意見をお寄せいただき、大変ありがとうございました。ここに、それらのご意見を念頭に置きつつ、本検討委員会の考え方をご説明いたします。

大東市学校統廃合検討委員会は、平成18年1月25日に大東市教育委員会より「大東市立小・中学校の適正配置および適正規模ならびに統廃合に関する事項」についての諮問を受け審議してきていますが、本委員会の役割は、諮問事項について審議し、最終答申を作成して教育委員会に答申することです。現在、皆さんから頂戴しました多くの貴重なご意見をも参考にしつつ、最終答申をまとめるために審議を重ねておりますが、ただし、これらの内容は、検討委員会としての考え方であり、教育委員会や市の意思決定ではありません。今後、教育委員会が本検討委員会の答申を受け、市と協議しながら教育委員会および市が最終決定を下すものです。

平成19年11月12日

大東市学校統廃合検討委員会

項目	ご意見（要旨）	学校統廃合検討委員会の考え方
答申の考え方に 関する こと	「望ましい教育環境」とは？これがイメージできないので、大東市が何を目的としているのか分からない	<p>学校での教育は、学習面の向上はもとより、子どもたちが多様な人間関係のなかで「生きる力」を養えるよう、多様な教育環境を提供することが必要であると考えています。一定規模の確保により、各学校において教育の質の向上のために必要な教員を確保できることにもなります。</p> <p>小規模校には小規模としての良さがありますが、一方でクラス替えができないなど、学校や地域、教師の努力だけでは解決が難しい課題が生じていることから、大東市教育委員会の諮問を受け、検討を重ねてきたところです。</p> <p>また、中間答申にもありますように、本検討委員会は、「統廃合ありき」で議論を進めてきたのではなく、あくまでも将来の児童数の減少により危惧される問題を解決するために学校統廃合を行うことが必要であるとの結論に達したのです。</p> <p>同時に、長期的な人口推移の予測は難しいものがありますところから、中間答申では「想定外の大きな児童数増加が生じた場合には、統廃合の延期や中止もあり得る」としております。</p> <p>なお、統廃合の実施にあたっては、中間答申「5．統廃合にかかわる諸課題への対応について」の中で、跡地の利用の問題も含めて統廃合に関連するさまざまな問題に関して、教育委員会や市にきめ細かな対応を強く要望しているところです。</p>
	諮問理由の「均衡」「学校間格差に対応」などの理由は、教育を提供する側の都合に感じる	
	パブリックコメントの周知不足	
	短期間のパブリックコメントではなく、十分な時間をかけて、意見・要求・要望を汲み上げて結論を出して欲しい	
	数多くの意見交換の機会や確かな情報の提供を望む	
	保護者の説明も意見も聞かずに答申のとりまとめをしていることに不信と怒りを感じる	
	子どもを小・中学校に通わせる親が、学校統廃合に対し、何を望んでおり、何を心配しているのか調査したのか	
	親や子どもの気持ちや意見を良く聞くべき	
	もう少し多方面からの見方があるのでは	
	市民、保護者に調査したのか	
	担任を持つ先生の見解は調査したのか	
	統廃合は、子どもたちへの「いじめ」である	
	「基準に合わないから廃校」ではなく、学校の中身を調べたうえで決めるべき	
	中間答申は、机上の空論	
	一面的、かつ、一方的に小規模校のデメリットが強調されている	
	子どもたちのにとって一番良い選択をするという観点から、統廃合するまでの5年間、いろいろな案を考えるべき	
	小規模校のメリットについての検討と統廃合されることにより、それらが守られるかどうかの検討がされていない	
	大規模校になった場合の課題や配慮すべき事項の記載がない	
	教育の困難は、統廃合で解決しない	
	校区の調整で解決すべきだ	
共働きの家庭が少なかった時代と今とは違う。環境の違いを加味すべき		
財政上の問題で統廃合するのではないか		
統廃合を考える前に学校の中で縮小、無駄の排除を考えるべき		
跡地はどうするのか？責任ある答申とするには確定させるべき		
児童数がこのまま減少するかどうか分からない（跡地にマンションが建つなど）		
統廃合後に子どもが増えた場合はどうするのか		

項目	ご意見(要旨)	学校統廃合検討委員会の考え方
答申の考え方に関する意見	深野北小学校設立からの経緯を知っての結論か(当初から小規模)	<p>小規模校には小規模校の良さがありますが、今後、児童数の減少が見込まれる中、前述のとおり、充実した教育環境を提供するためには、一定の学校規模を確保する必要があります。そして、クラス全員を一斉指導するだけでなく、その内容によってはグループ別指導や習熟度別指導、複数の教員によるチームティーチング、児童の興味・関心に応じた課題別学習など、多様な指導形態を採ることにより、より効果的な指導ができるものと考えております。これらのことから、適正規模を確保することにより、双方の良さを併せ持つ学校にしようとするものです。</p> <p>学校とは、知識を習得するだけでなく、集団の中で学習したり、生活したりする中で、たくましさ、優しさ、競い合い、励まし合いなど、様々な事を学んでいく場であり、これらの体験を通じて豊かな人間関係を築き、社会に出て行くための素養を培っていく所であると考えております。</p> <p>なお、「小規模校」と「少人数学級」については、明確に区分して考える必要があります。</p> <p>1学級あたりの児童生徒数は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で『小学校の1学級の児童数は40人(同学年の児童で編制する学級の場合)を標準として、都道府県の教育委員会が定める。』とされており、大阪府では、1・2学年においては35人、3～6学年では40人と定めています。この数は上限であり、例えば、ある小学校の3年生の児童数が41人の場合では、21人の学級と20人の2学級ができることとなりますが、その学年の児童数が40人の場合には、40人の学級が1学級ということになります。</p> <p>従いまして、「小規模校」=(イコール)「少人数学級」とはなりません。</p>
	深野北小学校の統廃合には反対する	
	深野北小学校は、少人数で先生の目も行き届き、いじめもなく、運動会では広い運動場で伸び伸びと動いていた	
	「社会性、社交性の発達が不十分」というデータはあるのか(集団の人数によって決まるのではなく、集団の質やその子が置かれている状況によって決まる)	
	教員同士の豊富な意見交換は、先生の人数ではない	
	教員の数が多ければ教員同士の豊富な意見交換や役割分担ができるとのことだが、具体の弊害は?	
	適正規模には教育的に何の根拠もない	
	適正規模とされるものは、相対的・暫定的なものであり、経済効率的なものではない	
	学校規模といじめの問題は連動していない	
	志木市のアンケートは全国の小学生共通の発達要求とするほどの普遍性があるのか	
	「集団の行事が活気づかず、盛り上がらない」というのは、委員の思いこみ	
	「児童数の減少で向上心が減退した」というデータはあるのか	
	児童の人数が少ない方が良いということもある。小規模校だからこそできることがたくさんある	
	小規模校は、それを生かした特色ある素晴らしい教育がなされている	
	小規模で、一人ひとりに目の届く教育こそ、今求められている	
	地域の人がそこに通う子ども達の名前と顔が覚えられくらいの学校規模で十分	
	「交流できる仲間が少ない」ということは、児童の将来に良い影響を与えない	
	答申に書かれているデメリットは感じない(深野北小の保護者)	
	切磋琢磨が困難と言うが、具体の弊害は生じているのか	
	集団行事の盛り上がり欠けると言うが、具体にどの行事か	
	市民、保護者は、少人数規模の学校を望んでいる	
	クラス替えがいじめや学級崩壊の有効な手だてというが、「クラス替え」しか対応策はないのか	
	「クラス替え」で、いじめも学級崩壊もなくなる	
	小規模校でも学級崩壊やいじめの指導がうまくできていないのに、それを学校の大きさにすり替えるのはおかしい。	
	いじめや学級崩壊がクラス替えで解決できた例はどのくらいあるのか	
	子どもの成長発達を無視した過度の競争は有害(競争心が育たないというデメリットに対して)	
	競争至上主義を正すのが教育	
	少人数学級を望む	
	小グループの子に視点を置いて発展させていく教育は、その後の人生を考えても大事である	
	少人数学級は、時代の趨勢	
少人数の方がずっと子どもを把握しやすい。「大東市の子どもが同じ環境で」というならば、良い方の環境に合わせるべき		
少人数の方が先生が目が行き届き、児童も落ち着いて学習できる		
世界の学校事情は、小・中学校の大半が少人数		
少数学級になっても英才教育の先行投資は日本を背負う人間を養成する		
次世代を担う子どもたちの教育を大切に(少人数学級奨励派)		
少人数学級で行き届いた教育によって学力向上、基本的な生活習慣が身につく、いじめや不登校が減少するのは、文科省の資料でも明らか		
少人数学級により行き届いた教育を保障するのが教育行政のあるべき姿		
少人数制で一人ひとりを見てもらうことが親の願い		
今の生徒数で教員を倍にするべき		
数の上だけで廃校すべきではない。少人数学級や教員の増加が大切		
ゆとり教育として土曜日を休日としたことと矛盾する。少人数の方がゆとりの教育ができる		
地方の学校と比較するとまだまだ多人数		

項目	ご意見(要旨)	学校統廃合検討委員会の考え方
教師	学年、学級数が増えると子どもたち1人ひとりに目が届かなくなる	学校統廃合により同じ学年に複数の担任教員を確保し、それらの教員のあいだの十分な連絡・協力体制を整えることで、一人一人の子どもを多角的な視点から把握することができると考えております。
	授業人数が増えると1人の先生の負担も増す	
	大規模校になればなるほど教師の数が増えても1人1人の子どもは把握しにくい	
	統合されることにより「1クラスの児童数の増加」「市に配属される教員数が減少」することにより、教育水準が低下するのでは？	
子ども ・ 地域 ・ 懸念	学年途中の統合は、子どものストレスの原因	懸念される事項を解決するために、中間答申の「5. 統廃合にかかわる諸問題への対応について」の(1)におきまして、双方の学校の児童や教員・保護者の事前交流なども含めた準備作業の必要性を謳っておりますが、併せて「統合後の学校に統合前の学校の教員を配置するなどの配慮をすること」という項目を答申に加え、円滑な統合を要請していきます。 なお、学校が変わることは、子どもたちが切磋琢磨し合うことによって育まれるべき向上心や多くの多様な同年齢の仲間と接して幅広い社会性・社交性を得ることができるという良い面もあると考えております。
	環境が変わることは子どもの精神上良くない	
	環境が急に変わってしまうと子どもが順応できるのか	
	よそ者扱いされ「いじめ」に発展する可能性がある	
	人数が増えることでいじめが発生したり、表面化せず気付きにくくなることを懸念	
	廃校となる学校の児童は、転校するのと同じようなようなもので、肩身の狭い思いをする	
	環境が変わる子どもへの心のケアは？	
	途中で学校が替わるのは良くない	
	放課後の友だち同士の遊ぶ範囲が広がり(校区が広がる)、何かあった時の対応が心配	
	深野北小学校の友だち同士が離ればなれになる	
	大規模になれば先生と子どもや地域との関係が希薄になる	
	統合されると校区が大きくなり、児童数も増えるので、学校と地域の関係が希薄になる	
北条西小学校は、地域に密着した良い学校		
北条西小学校では親同士が親密な関係		
通 学 路	通学距離が長く、かつ危険(南津の辺 四条北小)	安全な通学路の設定や点検、信号機、横断歩道・ガードレールの設置など、交通安全施設の整備促進や現在行っている子どもの見守り活動が継続されるよう支援することなどを教育委員会や市に強く要望していきます。
	権現川沿いの道路(府道162号線:外環状線の津の辺交差点から北条に行く道)の横断は危険(南津の辺 四条北小)	
	道路などの十分な整備を望む	
	統合され危険な道路の横断などで、登校時は高学年と一緒になのでまだましたが、下校時は危ない	
	四条北小学校に通うのは、遠い・ややこしい	
	踏切が危険というのは不納得(南津の辺 北条西小、北条小としなかった理由に対して)	
	数々の不審者が現れている情報が多発しており、登下校の安全面で保障がない中、登下校の距離が延びるのは絶対におかしい	
	北条小学校に通うのは、交通量の多い東高野街道を横断しなければならない。また、人目も少なく、不審者が出やすく思う	
北条小学校に通うのは、距離が長くかつ危険(北条西小 北条小)		

項目	ご意見(要旨)	学校統廃合検討委員会の考え方
統合先に関すること	障害者が北条小学校へ通学するのは、あまりにも本人負担が大きい	<p>統合後に利用する学校については、子どもにとって望ましい学校規模、地域性、中学校への接続、実施時期の融通性、通学の安全性、通学距離、施設のキャパシティー、将来あり得るであろう中学校の統廃合のことなどを顧慮して決定いたしました。また、耐震化工事やエレベーター等については、統合時期までの学校施設改修計画を加味して審議しました。</p> <p>なお、深野北小学校を分割し、深野小学校と四条北小学校に統合するとしたのは、深野北小学校が適正規模を下回り統合が必要となった時、深野小学校のみに統合すると、児童数が800人以上の過大校になってしまうことから、南津の辺町の児童を四条北小学校に通うようにすることで、統合後の2校が共におおむね600人台の適正な規模となるようにしたものです。また、北条西小学校と北条小学校につきましても、統合後の校区のほぼ中央に位置しているという適正配置の視点や学校が保有する教室数を考慮して統合先を北条小学校としたもので、スポーツ活動等の施設についても配慮が必要である旨を最終答申に盛り込むつもりです。</p>
	無料スクールバスを出し、北条小学校の児童を北条西小学校へ通学(北条西小に統合するという趣旨)	
	北条西小学校が北条小学校に統合されると運動会などで祖父母などが行き辛くなる	
	南津の辺町は、深野小学校に通うのが最も安全	
	南津の辺町は、深野小学校か四条北小学校を選択できるようにすべき	
	統合の時期を遅らせて、深野北小学校全員が深野小学校に行けないか	
	近くにある学校に通えず、遠い学校に行くのは納得できない(深野北小)	
	ハンディキャップを持っている子どもが安心し、スムーズに過ごせる場所は、他の子どもたちにとっても安心できる場所(統合先を北条西小にすべきとの趣旨)	
	自然災害を考えた場合北条小学校より北条西小学校が安全	
	北条西小学校は駅に近く、遠足の時など便利	
	北条西小学校は北条小学校と比べ、場所が分かりやすい	
	将来さらに統廃合が必要となった時には、北条小学校では困難	
	小学校の立地条件、グラウンドの良し悪し及び広さ、付属設備(エレベーター、扇風機など)などを十分に考慮して残す学校を決めるべき	
	統合先は、将来の児童数が多い学校にするのが良い	
	将来の新たな統廃合を考えると北条西小学校を残す方が良い	
	単純に新しい方の学校を活用すべき(老朽化に伴う維持補修費を考慮して)	
	四条北小学校は耐震に問題ないのか	
	深野北小学校と比べ、深野小学校の方がグラウンドが狭い	
	北条小学校でなく、北条西小学校を利用すべき	
	北条小学校は、耐震化工事がされていない。プールも浄化装置がない	
北条西小学校は耐震化工事をして、エレベーターも設置(廃校とするのは、税金の無駄遣いという意見もあり)、プールも循環式		
北条西小学校は、地震対策がなされ、エレベーターもある。体が不自由な人にも安心		
設備面や交通の便では、北条西小学校の方が優れている		
自然災害の面からも北条小学校より北条西小学校の方が安全		
北条小学校は運動場が狭く、芝生が生えていて、のびのび運動できない		
北条小学校の運動場を芝生化したためにソフトボールができず、北条西小学校の運動場を利用している		
建物、グラウンドの拡張工事等の対策は予定しているのか		

項目	ご意見(要旨)	学校統廃合検討委員会の考え方
その他の意見	教育水準の確保のため、「少人数クラス化」「教員の数・質の確保」を第一優先にして欲しい	<p>現存の小学校がなくなることで、その学校の在校生や卒業生がさびしく残念な気持ちになられることは十分に理解できます。そうした点を考慮して、その学校の思い出が心に残るよう、記念行事や記念誌の発行などを行うことを最終答申に盛り込みます。</p> <p>また、通学区域が広がることによって安全面での低下が生じたり、保護者の負担が増えることがないように十分な配慮・対策を講じるよう、教育委員会に強く要請いたします。</p>
	深野北小学校は不登校児童が1人もいない	
	統廃合には絶対反対(北条西小学校及び深野北小学校の方々からの意見)	
	統廃合を考える前に、現在通っている学校の中での縮小、無駄の排除が一番の方法	
	学校は、工場と違って非生産的な場所で、無駄の多い場所かも知れないが、子どもたちの心と体が育っていく素晴らしい場所。無駄を上回るメリットがある	
	安全確保のため、親の見回りが増えるのは嫌	
	P T Aの活動も広範囲になり、子どもの安全を守るのが困難になる	
	廃校後の通学校は、近隣の学校から自由に選択できるようにすべき	
	統合されると、何十年か先に子ども数が増えても、新たに学校を作るのは難しいのでは	
	北条小学校に統合されると、職員の方々も通勤が不便になり、車通勤になってしまう	
	深野児童センターがなくなるのか	
	統廃合の議論より、子どもの安全対策に力を入れて欲しい	
	学校に近く、子どもの様子も近くで見れるということで家を購入した	
	学校に近く、その学校(北条西小学校)が良い学校であるということで、引っ越してきた	
	四條畷警察が目前にあることで安心(深野北小)	
	慌てて結論をださないで	
	北条小学校に統合するのは、間違った圧力がかかっているのでは	
	北条西小学校を廃校にする理由は、立地的に高く売りやすいという噂がある	
	兄弟で違う小学校卒業となるのは残念	
	慣れ親しんだ学校で卒業させてあげたい	
	母校がなくなるのは悲しいこと。これまでの子ども達の思い出、軌跡は残るようにしたい	
	母校をなくすことは寂しい	
	親子2代が通った北条西小学校は残して欲しい	
	長年通い慣れた思い出の母校がなくなることが、将来の人生への悪影響となる可能性がある	
全ての子どもたち、先生方、保護者の方、周辺の方達にとって良い環境になればよい		
望むことは、子どもが安心して通える学校、ただそれだけ		
北条西小学校独自の行事がなくなるのは残念		
検討委員会に市議員が入っても良いのか		